

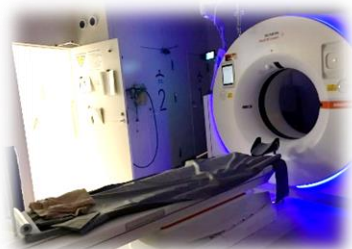
市立青梅総合

医療センターだより



第75号

2024年11月～2025年1月号



市立青梅総合医療センター

内 容 (目 次)

1. “年頭所感”	……2P
青梅市病院事業管理者兼病院長 大友 建一郎	
2. 地域連携医通信 “皆様に支えられながらの奥多摩の地域医療”	…4P
奥多摩町国民健康保険 奥多摩病院 院長 井上 大輔	
3. “診療科の紹介 =耳鼻咽喉科・頭頸部外科=”	……6P
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医長 河邊 浩明	
4. 令和6年10月2日から令和7年1月1日までの医師異動表	…… 7P
5. 事前予約枠一覧表	……8P
6. 外来担当表	……9P
7. 各種病診連携カンファレンス	……12P
8. CPC 予定表	……13P

= 当院の理念 =

私たちは、快適で優しい療養環境のもと、
地域が必要とする高度な急性期医療を、
安全かつ患者さんを中心に実践します。

= 基本方針 =

1. 清潔・・・私たちは、清潔な病院づくりに努めます。
2. 親切・・・私たちは、親切的な病院づくりに努めます。
3. 信頼・・・私たちは、信頼される病院づくりに努めます。
4. 自立・・・私たちは、自立できる病院づくりに努めます。

1. “年頭所感”

青梅市病院事業管理者兼病院長 大友 建一郎

新年おめでとうございます。日頃より多くの患者さんをご紹介いただき感謝申し上げます。また、病院運営につきましてもご理解とご支援をいただき深く御礼申し上げます。

昨年は1月1日の能登半島地震など緊張のお正月でしたが、今年は天候に恵まれて穏やかな年末年始でした。一方で、病院は9連休対応にインフルエンザ流行のピークが重なり、救急外来は連日200人の受診者で混雑し、9連休中の緊急入院が150人を超えるなど大変な状況でした。診療を支えた病院職員には感謝しています。



新病院本館稼働から1年が過ぎ、病院では順調に高度急性期・高度専門医療の提供が進んでいます。救命救急センターでは毎月1,700人の救急患者さんと480台の救急車を、大型機離発着可能となったヘリ救急は稼働後1年で前年度の10倍近い40機を受け入れています。手術支援ロボット(DaVinci)による手術は、消化器外科で胃がん・直腸がん・結腸がん、泌尿器科で前立腺がん・腎がん、産婦人科で子宮筋腫・子宮がん、秋からは呼吸器外科でも肺腫瘍に対する手術を開始しており、施行総件数は100件を超えました。ハイブリッド手術室においても、循環器内科が経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)や経皮的左心耳閉鎖術(Watchman)を行っているほか、心臓血管外科による大動脈ステントグラフト留置術や整形外科による3Dナビゲーション使用下の脊椎手術なども行われています。

新病院整備事業としては、現在、これまで救命救急センターがあった西側の「旧新棟」を改修し、本館との間を渡り廊下棟で結ぶ工事を行っています。

渡り廊下棟は本年4月に使用開始予定で、1階には講堂を整備してさまざまな催しを行いたいと考えています。旧新棟は6月から順次「西館」として稼働予定で、3階には従来の血液浄化センターに加えてリハビリテーション室が、4階には精神科病棟が移転します。リハビリテーション室では新規に外来心臓リハビリテーションを開始予定です。5階には新しく緩和ケア病棟16床を開棟する予定です。

西館稼働後は残っている旧東西棟を解体して駐車場とする外構整備を進めていく予定で、令和9年度のグランドオープンを目指して安全に工事を進めているところです。

当院が西多摩医療圏の中核として高度急性期・高度専門医療を提供していくためには、先生方からできるだけ多くの患者さんをご紹介いただくことが必須であると考えております。

緊急に受診を必要とする患者さんをスムーズに受け入れるために、昨年度より地域連携緊急当日受診相談PHSの運用を開始しました。総合診療科救急担当の野口和男医師への直通電話(0428-24-0022)ですので、是非ご活用をいただければと思います。なお、当日緊急受診の必要性が低い場合には従来通りに地域連携室医師会専用電話まで事前予約(FAX紹介)のご連絡をいただければと思います。

また、昨年4月より地域連携室訪問担当者(高橋・佐藤)による定期的な訪問も開始いたしました。四半期ごとに先生方の施設を訪問させていただき、当院の情報提供をさせていただくとともに先生方からの病院運営に関するご意見・ご要望をお伺いできればと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

3月には新装となった渡り廊下棟講堂において、今年度2回目の地域連携懇話会を開催予定です。是非多くの先生方にご来場いただければ幸いです。

今年は前方連携とともに後方連携も充実させていきたいと考えております。

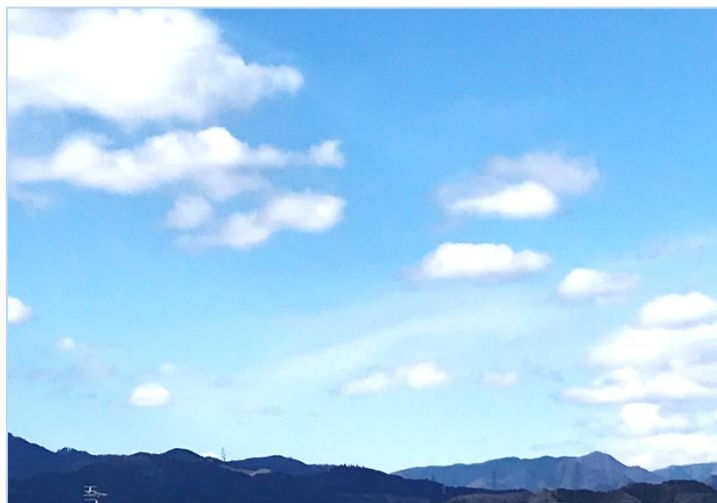
当院が急性期病院として救急患者さんを受け入れていくためには、病状の落ち着いた患者さんなるべく早期に回復期あるいは療養型病床へ転院をお願いしていく必要があると考えています。令和6年度診療報酬改定において新設された救急患者連携搬送(いわゆる下り搬送)については、いくつかの病院にご協力をいただいて連携を開始しておりますが、今年はさらに充実させていきたいと考えています。

また、転院だけでなく、自宅退院・在宅療養継続に関しても、地域の施設との連携を強化していくべく、対面での地域連携学習会を2月に再開する予定です。

西多摩医師会が主体となっている「にしたまICTネットワーク」を通じて、多くの先生方に昨年度は1,400名を超える患者さんの当院電子カルテを閲覧いただきました。当院からの退院・転院に際して入院経過をご覧いただくだけでなく、当院にご紹介いただいた患者さんの経過や救急受診した際の所見・検査データを確認いただくなど、さまざまな用途での閲覧が考えられると思います。是非ご活用いただけると幸いです。

今年もより一層、病診・病病連携の充実・強化を図っていきたいと思います。ご意見、ご要望などございましたら、地域医療連携室か私のメールアドレス(ohtomo-k@mghp.ome.tokyo.jp)までご連絡をいただければ幸いです。

本年も、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



2. 地域連携医通信 “皆様に支えられながらの奥多摩の地域医療”



奥多摩町国民健康保険 奥多摩病院 院長 井上 大輔
〒198-0212 西多摩郡奥多摩町氷川 1111
tel:0428-83-2145

大変お世話になっております。奥多摩病院の井上です。
この度は、貴誌への執筆という大変貴重な機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

私の奥多摩との関わりは通算 14 年目となります。2007 年度に自治医大の派遣医師として奥多摩でお世話になり大変大事にさせていただいたことに感激し、2012 年に戻ってきて定着したような形です。皆様ご存じのように奥多摩は自然豊かで風光明媚な土地柄です。目の前には大きな山々が連なり、耳を澄ませば川のせせらぎや鳥のさえずりが聞こえてきます。若い頃はそびえ立つ六本木ヒルズや聞こえてくる都会の喧騒に心ときめいておりましたが、私も年を取り毎日奥多摩の自然に心癒やされる毎日です。

奥多摩町は人口 4600 人、高齢化率 52%を超える山間へき地になります。高齢者の皆様は奥多摩に生まれ育ち、または奥多摩に嫁がれて 50~60 年と過ごされている方がほとんどです。人々はこの大自然から大きな恩恵を受けることもあれば、時には脅威にさらされることもある生活の中、共助の精神や文化を守る生活が当たり前のように営まれてきました。大学浪人時代に分かったようなふりをして和辻哲郎さんの『風土』を読みましたが、やっぱり当時はよく理解しておらず、奥多摩の皆様と接する中で書かれていたことはこういうことだったのかと数十年の時を超えてやっと分かったような気がします。十数回の引っ越しを重ね故郷と呼べるものを持たない私などより、奥多摩の皆様の方がよっぽどアイデンティティが豊かなのではないかと思います。では、奥多摩の方の人生の終焉はどこで迎えるか？残念ながら、奥多摩町内で高度医療を提供することはできません。ただ、高度医療を望まれず、この奥多摩の山々に抱かれながら天寿を全うされることを選択された方とは ACP (Advance Care Planning) のお約束を行い、在宅や入院、特別養護老人ホームなど、その方の事情に合わせて様々な場面でお見送りさせていただいており、それこそが私共の最大の使命と考えております。

(図 1)

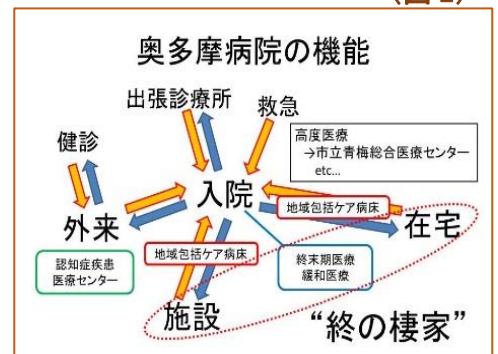


奥多摩病院は総合診療医 4 名体制で医療を行っています。私は医師 23 年目の古参ですが、他の医師は 12 年目(高梨 俊洋医師)、8 年目(小林 史典医師)、7 年目(桑原 直孝医師)と若い力が奥多摩の医療を守ってくれています。

当院が基幹病院となって運営している総合診療専門医養成プログラム「おくたま清流塾」や、東京都地域枠医師制度により積極的な受け入れを行い若い力を結集させています(「おくたま清流塾」には貴院にも連携施設として加わっていただいております)。(図1)

当院医師は総合診療として外来、入院、外傷を含めた 2 次救急、在宅、小児、緩和医療と幅広い医療に携わり、更に保健・福祉分野と連携した地域包括ケアシステムの運用を図りながら、患者さんの人生の背景や奥多摩の風土を加味した、いわゆるプライマリケア、全人医療を心掛けた医療の展開を図っています。(図2)

(図 2)



山間へき地ゆえの医療・福祉資源の少なさはどうしてもありますが、少ないスタッフによる連携を大切にし何とか形を保っています。

看護師も病棟を見て、外来も見て、救急車対応から訪問看護も行う幅広い活躍をしています。薬剤師や理学療法士も在宅医療に携わってくれています。

患者さんの視点から見ると、外来→在宅→福祉施設、時には入院と場面が変わる中でも同じ医療スタッフがずっと関わることとなり、大きな安心感をいただいているものと思います。(図3)



当院は総合診療としてあらゆる疾患に携わりますが、もちろん何でも行えるわけではなく、重症であったり高度な知識・技量を求められると大変な力不足です。その点で市立青梅総合医療センター様には大変なお世話になっており、専門医療、高度医療を希望される皆様を積極的に御紹介させていただいております。いつも優しい笑顔で接して下さる大友 建一郎院長先生を始めとした先生方、地域医療連携室の皆様など、多大なる御支援をいただいていることに大変感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

一方で、貴院に甘えてばかりではいけない、少しでもお力にならなければと考え 2012～2016 年度、2018 年度の 6 年間、私自身が週 1 回の救急外来のお手伝いをさせていただきました。当時の貴院救命救急センターは川上 正人先生、肥留川 賢一先生体制で、勉強不足の私に数々の御指導をいただき大変にお世話になりました。現在は肥留川 賢一先生、宮国 泰彦先生体制と時代が変わり、年を取って体力的・精神的なエネルギーが枯渇してしまった私に代わって 2024 年度から当院 高梨 俊洋医師が貴院救命救急センターの週 1 回勤務をさせていただいております(東青梅診療所の武信 康弘先生が今でも救命救急センター勤務を続けいらっしゃる記事をお読みし、とても真似できないと感服いたしました...)。高梨医師はもともと貴院の初期臨床研修医出身で、貴院への恩返しの思いもかなり強いようです。

余談ですが、2022 年度に当院に勤務した榎淵 滯医師、来年度から勤務予定の伊波 菜緒子医師も貴院初期臨床研修医の出身で、西多摩へ帰ってきてくれることをこれ程うれしく感じるのは私も年を取ったせいでしょうか...

奥多摩病院は貴院のみならず、西多摩医師会の先生方からも多くの御支援をいただいております。在宅医療は西多摩医師会会長 進藤 幸雄先生、在宅療養支援診療所会議の先生方からその基礎を学ばせていただきました。当院は認知症疾患医療センター(地域連携型)の指定をいただいておりますが、前西多摩医師会会長の玉木 一弘先生に導いていただき、青梅成木台病院様を始め多くの医療機関に支えていただいております。在宅医療との親和性が高い地域包括ケア病床を 10 床有しておりますが、その整備を後押ししてくださったのは西多摩地区病院会会長の進藤 晃先生で、高木病院様やあきる台病院様にも大変お世話になりました。ここでは書ききれませんが、それ以外にも本当に多くの医療機関の皆様から多大なる御支援をいただいております。

このように、貴院と西多摩医師会の皆様方に支えられて奥多摩の地域医療は成り立っております。この場をお借りして深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

常に大自然の息吹きを感じ、その歴史の中で営まれてきた奥多摩の住民の皆様方の人生。そこにはナラティブな世界が広がっています。その物語の片隅に加えていただけることはとても幸せなことですし、迷いがちな私自身のアイデンティティがそこにあると信じ、これからも奥多摩の地域医療をライフワークとして頑張っと思っています。



“奥多摩町ホームページより”

市立青梅総合医療センターの皆様、西多摩医師会の皆様、
今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

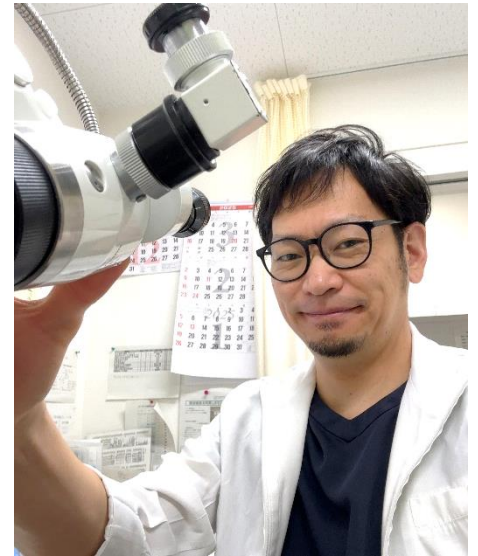
3. “診療科の紹介 =耳鼻咽喉科・頭頸部外科=”

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医長 河邊 浩明

2024年4月より市立青梅総合医療センターに赴任しました河邊浩明と申します。

昨年度までは東京科学大学病院(旧・東京医科歯科大学病院)頭頸部外科に約6年間勤務していました。専門は頭頸部外科で、大学では頸部を中心に手術や化学療法を多く行ってきました。耳鼻咽喉科の専門医や頭頸部外科の専門医に加え、気管食道科学会やアレルギー学会の専門医も持っていますので、耳鼻咽喉科として幅広く携わっていききたいと思います。

外来は月曜から金曜まで午前中に初診外来を行っています。今年度から難聴外来を新規に立ち上げ、補聴器専門店と密に連携しています。今までも補聴器外来を行っていましたが、連携することで定期的な検査や補聴器調整などをさらに行うことができます。



また手術に関しては、新しく内視鏡下咽喉頭手術を導入しました。早期の中咽頭癌や下咽頭癌、喉頭癌に対して、内視鏡で観察しながら切除する手術となります。放射線療法に比べて、治療期間が短く、唾液減少などの副作用もありません。放射線療法は頸部に対して1回しか使用できませんので、その治療法を残しておくことで、再発した時に治療の選択肢が広がります。

今まで手術が必要な副鼻腔炎、基礎疾患のある突発性難聴や顔面神経麻痺、頸部腫瘍など多くを紹介していただきありがとうございます。

その他でもお困りの症例についてご紹介いただければ、当院で対応いたします。更に難しい症例については大学とも連携していますので、迅速に対応することが可能です。

地域の先生方と連携し、西多摩地区での医療に貢献できればと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。



4. 令和6年10月2日から令和7年1月1日までの医師異動表

令和6年10月2日から令和7年1月1日までの間、医師4名が退職し、医師2名の採用がありました。

● 医長・医員・嘱託医・専攻医

退職 医師

日付	科名	役職名	退職者
10月31日	消化器・一般外科	医長	佐々木 隆義
12月31日	産婦人科	医員	鏑田 芙美子

日付	科名	役職名	退職者
11月30日	救急科	専攻医	假谷 玲維
12月31日	脳神経内科	専攻医	丹下 貴美子

新任 医師

日付	科名	役職名	採用者
11月1日	消化器・一般外科	医長	小松 更一

日付	科名	役職名	採用者
12月1日	救急科	専攻医	石川 駿

1月1日現在、当院の医師数は、

嘱託医・専攻医・初期臨床研修医を含め、161名です。



5. 事前予約枠一覧表

令和7年1月1日現在

診療科	○の中の数字は人数					時間	備考
	月	火	水	木	金		
内科	②	②	②	②	②	9時～	診断が確定していない場合にご予約いただけます。 診断が確定している場合は各専門外来にご紹介ください。
生活習慣病栄養指導外来	②	②	②	②	②	9時30分～	
呼吸器内科 ※	④	④	④	②	④	11時30分～12時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。 予約時間の60分前までに来院するようお願いください。
SAS 外来	②	②	/	/	/	16時～16時30分	睡眠時無呼吸症候群の疑いの方はSAS外来にご紹介ください。 患者さんからもご予約いただけます。
消化器内科 ※	⑮	②	③	⑧	②		予約時間はお問い合わせください。
循環器内科 ※	⑥	⑦	⑦	⑨	⑦	9時30分～12時30分	予約時間の45分前までに来院するようお願いください。
心房細動外来	/	/	/	/	②	9時～10時	予約時間の30分前までに来院するようお願いください。
血管外来(循内) ※	/	④	/	/	/	14時～16時	閉塞性動脈硬化症の場合はこちらへご紹介ください。予約時間の30分前までに来院するようお願いください。
心臓弁膜症外来	/	/	/	④	/	14時～15時	予約時間の60分前までに来院するようお願いください。
腎臓内科 ※	③	③	②	②	③	10時30分～12時30分	受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いします。 予約時間はお問い合わせください。
内分泌糖尿病内科 ※	③	②	①	②	③	10時～12時30分	受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いします。
糖尿病透析予防外来	○	/	/	○	/	12時～	予約時間の60分前までに来院するようお願いください。
インスリンポンプ CGM 外来	/	③	/	/	/	14時30分～16時	
血液内科 ※	①	①	①	①	/	10時30分～11時	9時45分までに来院するようお願いください。受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いします。
リウマチ科 ※	②	③	②	①	②	9時～14時	45分前までに来院するようお願いください。受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いします。
外科 ※	③	③	③	③	③	9時30分～11時30分	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
乳腺外来 ※	/	/	②	/	/	10時	診療情報提供書をFAXしていただき医師に確認の上、ご連絡差し上げます。
脳神経外科 ※	①	/	①	①	①	9時～10時	火曜日は手術日です。
脳神経内科 ※	②	②	①	②	②	13時～14時	もの忘れ・認知症は精神科の「もの忘れ外来」へご紹介ください。
呼吸器外科 ※	○	/	/	/	/		受診日・時間は、診療情報提供書をFAXしていただき、医師に確認の上、ご連絡差し上げます。
心臓血管外科 ※	①	/	①	/	/		受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
血管外来(心外) ※	②	/	/	/	/	9時～9時30分	腹部大動脈瘤・下肢静脈瘤の場合はこちらへご紹介ください。 受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
整形外科 ※	○	○	○	○	○		受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
骨密度(DEXA)検査	○	/	○	○	○		検査時間は30分程度です。
骨粗鬆症予備外来	/	○	○	/	/		
産婦人科 ※	③	③	③	③	③	9時～11時30分	
皮膚科 ※	○	/	○	○	○	9時30分～11時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。完全予約制です。
形成外科 ※	①	①	①	①	/		予約時間はお問い合わせください。完全予約制です。
泌尿器科	③	/	③	③	/	10時～11時30分	受診前に検尿があり。受診時採尿できない場合は必ず当日の朝に採尿したものをお持ちください。
小児科 ※	○	○	○	○	○	9時～12時	人数制限はありません。受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
眼科	②	②	②	①	②	9時40分～10時50分	当日は症状により散瞳剤を点眼して検査を行う場合があるため ご自身が運転するお車でのご来院はお控えください。
耳鼻いんこう科	/	②	②	②	②	10時～11時	水曜日は手術日のため医師指定はできません。また ARB 検査は受診当日にはできません。
精神科	/	/	/	/	/		精神科外来で予約を承ります⇒TEL0428-22-3191(代表)
もの忘れ外来	/	/	/	/	/		
放射線診断科	/	/	/	/	/		CT,MRIの検査の予約は放射線科受付で承ります⇒TEL0428-22-3191(代表)
歯科口腔外科	③	③	/	③	③	9時30分～11時	水曜日は手術日のため休診です。

※印は『診療情報提供書』のFAX送信を受診予約日の前営業日までにお問い合わせしております

6. 外来担当表

◆:当日受付可

無印:予約及び紹介のみ

(令和7年1月1日現在)

		月	火	水	木	金
総合内科	午前	当番医◆	当番医◆	当番医◆	当番医◆	当番医◆
呼吸器内科	午前	大友悠	伊藤達	日下	高野	大場
		村上	甲斐文	磯貝	須原	本田樹
	午後	大友悠	伊藤達	日下	高野	大場
		村上	甲斐文	磯貝	須原	本田樹
消化器内科	午前	濱野耕	小林	伊藤ゆ	野口	渡部
		久保田	芥田	普天間	久保田	末松
	午後	濱野耕	渡部	伊藤ゆ	野口	芥田
			普天間	小林美		
循環器内科	午前/午後	増田	阿部	小野裕	栗原	宮崎
		埜本	坂本	大谷	鈴木麻	石田
腎臓内科	午前	中野	松川	河本	高見	松川
		原田		中熊		
内分泌 糖尿病内科	午前	大島	大島	大島	大坪	大島
		大坪			山田	山田
	午後	大島	インスリンポンプ CGM外来		大坪	大島
血液内科	午前	岡田	藤本	川上	甲斐浩	熊谷
リウマチ・ 膠原病科	午前	長坂	戸倉	長坂	竹中健	長坂
				戸倉		戸倉
	午後	長坂	戸倉	長坂	傳田	長坂
			鏑田拓	戸倉		戸倉
緩和ケア科	午後			松井		
皮膚科	午前	竹治		井上牧	竹治(第1・3・5)	土屋
					椎名(第2)	
					小林(第4)	
形成外科	午前	井上牧◆	石川(第1・3・5)	井上牧◆	井上牧◆	
			山口(第2・4)			

		月	火	水	木	金
外科	午前		当番医◆ 石井博	山崎一 ストマ外来	当番医◆ 竹中芳	当番医◆ 藤井学
		午後		山下 藤井学		平野 坂本
	午前		平塚	平塚	平塚	
	午後	平塚	平塚	平塚		
心臓血管外科	午前	山本			工藤	山本
		工藤			シャント外来	
		シャント外来				
	午後	染谷 血管外来		染谷	血管外来	
呼吸器外科	午前	今井		森恵		
整形外科	午前/午後	当番医◆	当番医◆	神戸(午後)	当番医◆	当番医◆
			加藤剛		古岡(午前)	加藤剛(午前)
		股関節専門外来 (第1・3・5)	石井宣・松多 平形(午前)	骨腫瘍専門外来 (第1午後)	山田	石井宣(午前) 脊椎専門外来 (午前)
		脊椎専門外来 (午後)	渡邊(午後) 脊椎専門外来			膝専門外来9・12時
	骨粗鬆症外来	予診(午後)	予診(午後) 加藤剛(午後)		石井宣(午前)	
産婦人科	午前	大吉	立花	伊田	河野絵	陶守
		鈴木晃	豊泉	小澤桃	三浦◆	大河内
		河野俊◆	斉藤◆	当番医◆		中島◆
	午後		当番医2時～4時		当番医2時～4時	
	妊婦健診 (午前)	斉藤◆	河野俊 大河内	大河内	依光 豊泉	三浦
	午後	産後1か月検診	予約外来 子宮がん検診	産後1か月検診	予約外来 子宮がん検診	予約外来
		助産師 (9:00～14:00)	当番助産師 (9:00～16:00)	当番助産師 (9:00～14:00)	当番助産師 (9:00～16:00)	当番助産師 (9:00～16:00)
		授乳相談	母親教室	母乳外来		
脳神経センター ・脳神経内科 ・脳神経外科	午前	脳神経外科 当番医(新患)◆	脳神経内科 当番医(新患)◆	脳神経外科 当番医(新患)◆	脳神経内科 当番医(新患)◆	脳神経外科 当番医(新患)◆
脳神経内科 田尾(午前/午後)		脳神経内科 藤野(午前/午後)	脳神経内科 仁科智(午前/午後)	脳神経内科 工藤(午前/午後)	脳神経内科 田尾(午前/午後)	
脳神経外科 唐鎌			脳神経外科 渡辺俊	脳神経外科 石川茉		

		月	火	水	木	金
泌尿器科	午前	中園 ◆		森洋 ◆	森洋 ◆	
		大塚 ◆		中村 ◆	中園 ◆	
	午後	中園	手術	森洋	森洋	予約診療
		中村		大塚	中園	手術
		予約診療		予約診療	予約の検査	
	予約の検査・手術		予約の検査			
小児科	午前	神田祥 ◆	高橋寛 ◆	神田祥 ◆	高橋寛 ◆	横山 ◆
		下田 ◆	横山 ◆	下田 ◆	神田祥 ◆	小野真 ◆
		安藤 ◆	小野真 ◆	浅見 ◆	安藤 ◆	百瀬 ◆
		朴 ◆	百瀬 ◆	岩田 ◆	朴 (第1・3・4・5) ◆	浅見 (第1・2・3・5) ◆
					岩田 (第2) ◆	岩田 (第4) ◆
	午後					
		アレルギー外来	心理外来	心理外来 (第1・3)	心臓外来 (第1・3)	小児外科外来 (第2)
		予防接種	乳児検診		神経外来	腎臓外来 (第4)
					内分泌外来 (第3)	神経外来 (第3)
						内分泌外来 (第1)
				乳児検診		
眼科	午前	森浩 ◆	森浩 ◆	秋山 ◆	森浩 ◆	森浩 ◆
		寺松 ◆	秋山 ◆		寺松 ◆	寺松 ◆
耳鼻いんこう科・ 頭頸部外科	午前	当番医 ◆	加邊 ◆	当番医 ◆	水野 ◆	溝口 ◆
		手術	溝口	手術	加邊	加邊
	午後		補聴器外来		頭頸部外科外来	
					補聴器外来	
精神科	午前/午後	(新患)当番医 (午前)	(新患)当番医 (午前)	(新患)当番医 (午前)	(新患)当番医 (午前)	(新患)当番医 (午前)
		窪田	岡崎	田中修	岡崎	田中修
			谷	谷	藤田	
放射線治療科	午前/午後	星	星	大久保	星	星
リハビリ テーション科	午前					
歯科口腔 外科	午前	樋口 ◆	樋口 ◆		樋口 ◆	樋口 ◆

7. 各種病診連携カンファレンス

青梅心電図勉強会(2、7月)

第55回 5月 28日(水) 予定

会場:未定

西多摩心臓病研究会(10月)

第40回 10月 予定

会場:未定

西多摩呼吸器懇話会(5、11月)

第36回 6月 3日(火) 19:30~

会場:市立青梅総合医療センター 本館 新講堂

西多摩消化器疾患カンファレンス(夏、冬)

第36回 7月開催予定(6月もしくは7月頃を予定)

会場:未定

西多摩高血圧カンファレンス(年1回)

第23回 10月開催予定

会場:未定

順次、詳細が決まりましたら、お知らせいたします。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。



“コンビニエンスストア”



“⑬:脳神経センター”

8. CPC 予定表

時間 17時30分～19時00分

(時間が変更になっております。ご注意ください。)

原則として隔月(偶数月)の第4月曜日に開催

* 令和7年 2月 23日(火) 17:30～

(仮設棟 1F 第4会議室)

症例 未定.....

* 決まり次第、お知らせいたします。

* 令和7年 4月 28日(月)

* 決まり次第、お知らせいたします。

お忙しい中での皆様のご参加に、感謝いたします。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

CPC担当 病理診断科部長 笠原 一郎

=地域医療連携懇話会のご案内=

第19回 市立青梅総合医療センター 地域医療連携懇話会

令和7年 3月 5日(水曜日) 19:30～

会場: 本館 新講堂

* 詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。
多くの先生方のご参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

編集後記

昨年中は、多大なるご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。
厚く御礼申し上げます。

今年のお正月は9連休でしたが、当院では、連休中も新規の入院患者さんをお受けし、救急外来には毎日200名近い患者さんが受診され、対応に追われました。その中でもインフルエンザの診断がつく患者さんが非常に多く見受けられました。インフルエンザ、コロナ、マイコプラズマ肺炎など感染症が蔓延する季節が続きます。標準予防対策を徹底し、この状況を乗り越えたいと思います。

地域医療連携室では3月に今年度2回目の懇話会を予定しています。新しい講堂での開催を予定しております。お忙しいことと思いますが、是非、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室 看護師長 手塚浩恵

市立青梅総合医療センターだより 令和6年11月～令和7年1月 第75号

発行 令和7年1月
発行者 市立青梅総合医療センター
病院事業管理者兼病院長 大友 建一郎
担当 地域医療連携室 / 広報サービス委員会

〒198-0042 青梅市東青梅4-16-5

TEL 0428-22-3191

FAX 0428-24-5126

URL <http://www.mghp.ome.tokyo.jp/>